山田勝彦プロフィール

- 1979 年 7 月生まれ
- 長崎県立大村高等学校 卒業
- 法政大学社会学部 卒業
- 元農林水産大臣 山田正彦 秘書
- 株式会社やまびこ学苑 代表取締役
  （障がい福祉事業、農業）
- 前衆議院議員
  （2021年10月～2026年1月）
- 妻と息子、愛犬と大村市で暮らす

療育型の放課後等デイサービスで、障がいを抱えた子ども達の自立支援事業

農福連携の就労継続支援 B 型で、オーガニック野菜と放し飼いの卵を生産・販売

三ツ星国会議員表彰

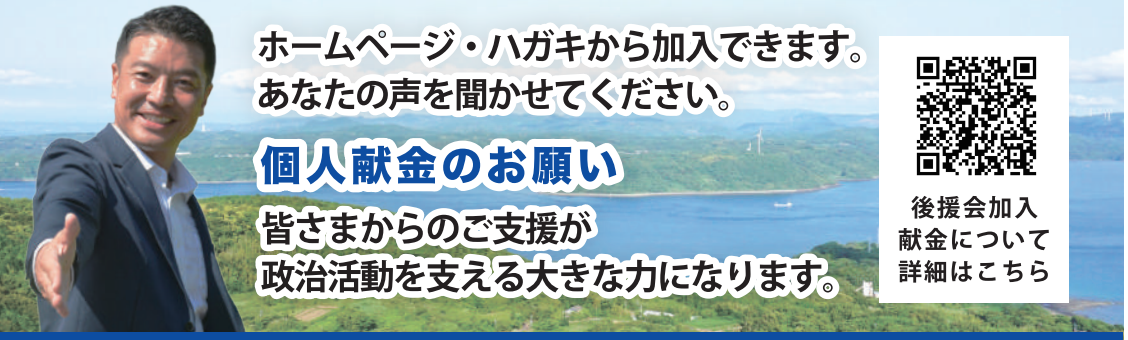
国会での質問や法案提出などが評価され、
第208回国会「三ツ星議員」に選ばれました。

**長崎県選出の国会議員では
初めての受賞です。**

山田勝彦は農政、福祉、離島・半島振興の専門家として、長崎県内各地域の課題を解決するために全力で取り組んできました。
山田カッチャンネルで、実際の国会質問をご覧いただけます。

YouTube
山田カッチャンネル

あなたの声を国政へ 山田勝彦後援会 会員募集中！



ホームページ・ハガキから加入できます。
あなたの声を聞かせてください。

個人献金のお願い

皆さまからのご支援が
政治活動を支える大きな力になります。

後援会加入
献金について
詳細はこちら

SNS 情報
お友だち登録お願いします。
ご意見・ご質問もお受けします。

公式LINE

@yamabiko719

山田勝彦 検索

山田勝彦後援会
〒856-0805 長崎県大村市竹松本町 859-1
TEL：0957-46-3788　FAX：0957-46-3789
info@yamada-katsuhiko.com
www.yamada-katsuhiko.com

前衆議院議員
山田勝彦
かつひこ

無所属
党より人

現場主義
歩く｜聴く｜変える

なぜ無所属なのか？

2026年2月の衆議院選挙。
力不足による敗戦を真摯に受け止め、
私はもう一度、**挑戦者**として長崎２区の各地域を歩き続けます。

政治が変われば、暮らしが変わる。
4年3ヶ月の国会議員時代、そのことを実感しました。
だからこそ、政治への志は今も変わりません。

お一人お一人の声に向き合い、行動するために。
そして、**党より人で選ばれる政治家**であるために。
私は無所属という道を選びました。

答えは現場にある。
これからも歩き、聴き、長崎の声を力に変え、
ふるさとの未来を一緒につくっていきます。

物価は上がっても
給料は上がらない

子育てにお金が
かかり過ぎる

年金だけでは
暮らしていけない

農村・漁村に若者が
いなくなった

現場で聞いた声から 未来を変える政策へ

長崎の経済を活性化する

長崎空港の24時間化、
西九州新幹線のフル規格化、
国道34号拡幅、島原道路・
西彼杵道路の早期完成を目指す

所得税や法人税の累進性を強化し、消費税を一律5％へ減税する

社会保険料の事業者負担を軽減し、中小企業でも物価高を上回る賃上げを実現する

子ども達の笑顔と未来を守る

小学生だけでなく中学生まで給食を無償化し、人と環境に優しいオーガニック給食を全国で実現する

高校の次は大学まで授業料の無償化を実現し、家庭の経済状況にかかわらず学べる社会をつくる

奨学金の返済を減額・免除する対象を大幅に広げ、若者が希望を持てる未来をつくる

老後の安心が高まる社会へ

物価が上がれば年金も上がる制度へ見直し、最低年金額を引き上げ、暮らしを支える

高齢者の医療費3割負担の対象拡大に反対し、安心して受けられる医療を守る

バスやタクシーなど地域交通への支援策を充実させ、高齢者など交通弱者の病院や買い物への足を守る

後継者が育つ農林水産業へ

国から農家への直接支払いによる所得補償を実現し、農家所得と食料自給率を高める

農林水産業に新たに挑戦する人への支援策を強化し、農村・漁村で働く若者を増やす

漁業の燃油高騰や海藻が減る磯焼けへの対策を強化し、漁師の暮らしと海の環境を守る

若者が残れる離島・半島へ

離島航路の低料金化を島民以外も対象にし、交流人口と島内消費を増やし、島の経済を活性化する

ローカル鉄道を支援する国の制度を活用し、島原鉄道を存続させ、半島地域の足を守る

離島・半島振興法を活かし、医師や看護師などを確保し、地域医療を守る

長崎を最後の被爆地に

唯一の戦争被爆国として非核三原則を守り、核兵器禁止条約に参加し、核兵器なき世界を目指す

戦争をしないと誓った憲法の平和主義を貫き、国民を守る自衛隊員を海外の戦場へ送らない

力による現状変更を許さず、同盟国にも言うべきことを言い、対話と外交によって平和を築く